

「栃木県のがん 2021（令和3年）」 （栃木県がん実態調査報告）について

全国がん登録 2021（令和3）年症例 罹患数・率
・令和7（2025）年3月 報告書公表（厚生労働省）

- 栃木県版報告書の作成
「栃木県のがん 2021（令和3年）」

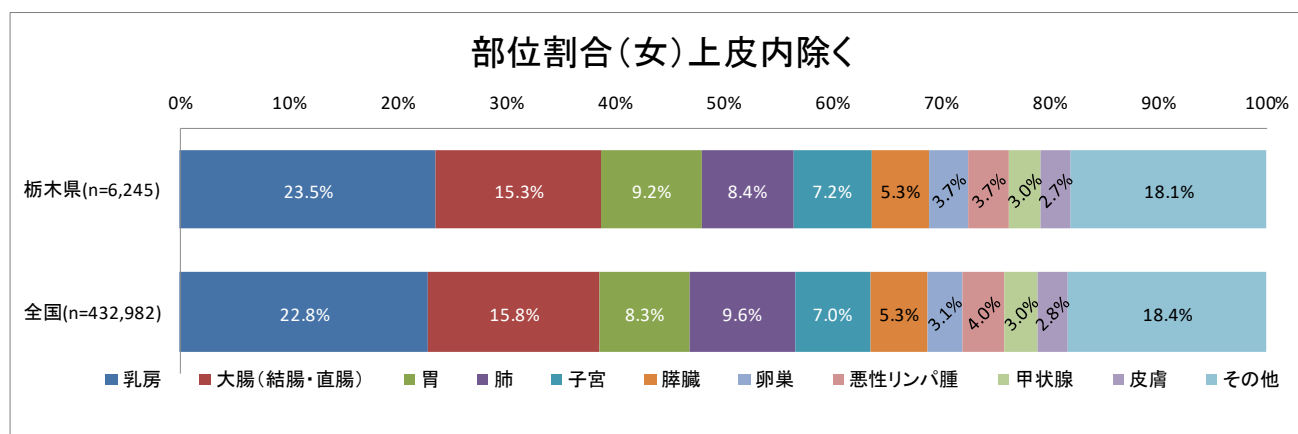
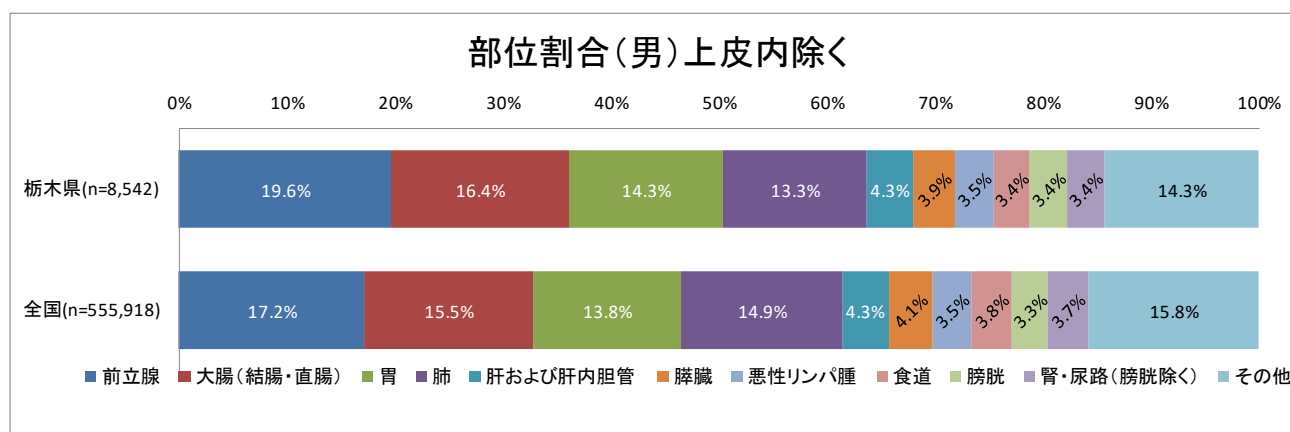
1. 罹患の概要

(1) 罹患数及び罹患率

上皮内がんを除く全部位の罹患数(C00-C96)は14,787件(男性8,542件、女性6,245件)であった。罹患率人口10万対では769.8(男性891.6、女性648.5)、年齢調整罹患率は370.6(男性417.3、女性339.0)であった。

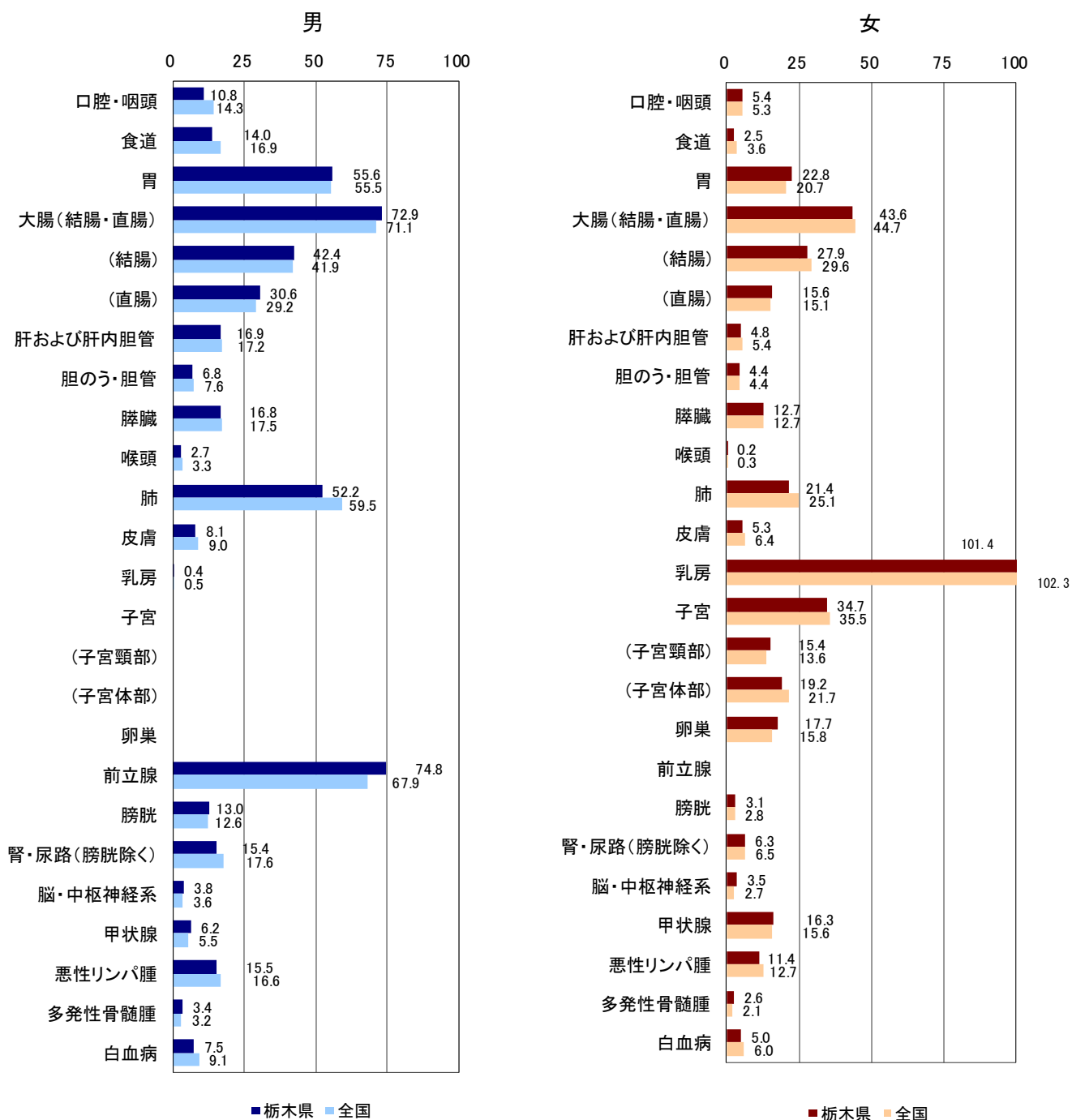
罹患数を部位別に多い順にみると、男性では前立腺(1,678件、19.6%)、大腸(1,402件、16.4%)、胃(1,225件、14.3%)、肺(1,134件、13.3%)、肝臓(369件、4.3%)であった。女性では、乳房(1,467件、23.5%)、大腸(954件、15.3%)、胃(577件、9.2%)、肺(524件、8.4%)、子宮(452件、7.2%)であった。

全国と比較して、それぞれの部位の占める割合は大きく変わらなかった。全国では男性は、前立腺、大腸、肺、胃、肝臓の順、女性は乳房、大腸、肺、胃、子宮の順であった。



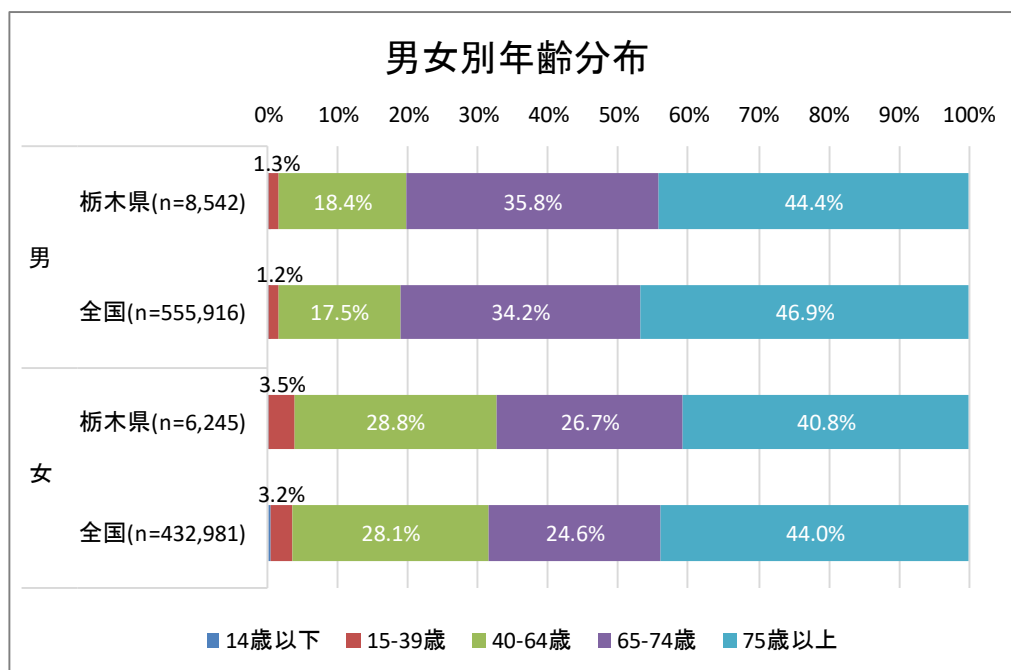
年齢調整罹患率は370.6（男性417.3、女性339.0）で、全国の年齢調整罹患率379.0（男性429.9、女性344.7）と比較してやや低かった。

部位別年齢調整罹患率



(2) 年齢別罹患

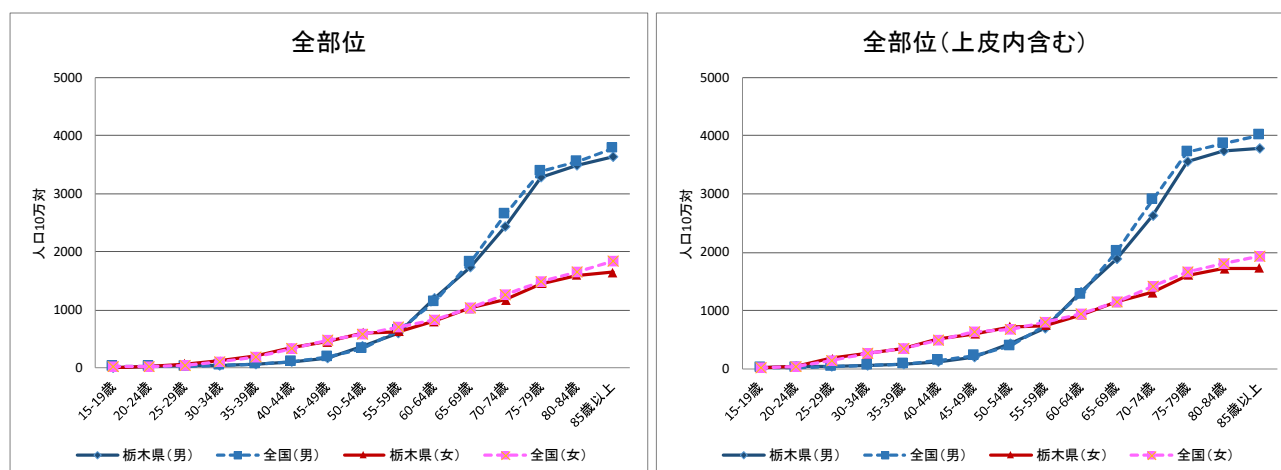
年齢別では、2021 年に新たにがんと診断された 75 歳未満の割合は男性 55.6%、女性 59.2%であった。全国においては男性 53.1%、女性 56.0%であった。男女とも栃木県の方が 75 歳未満の占める割合が高かった。

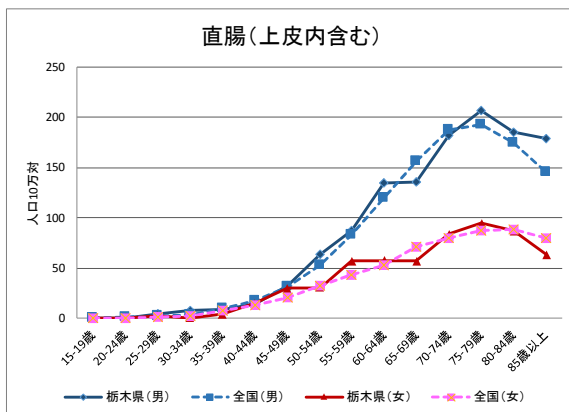
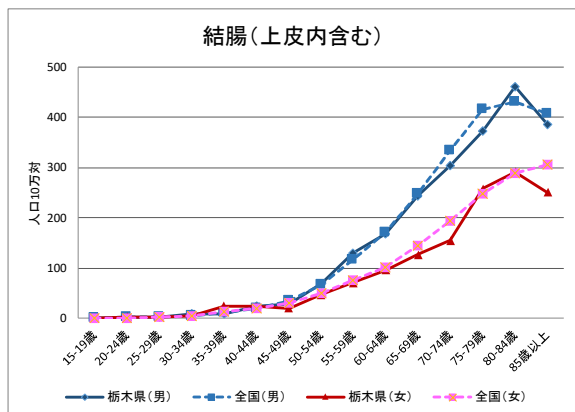
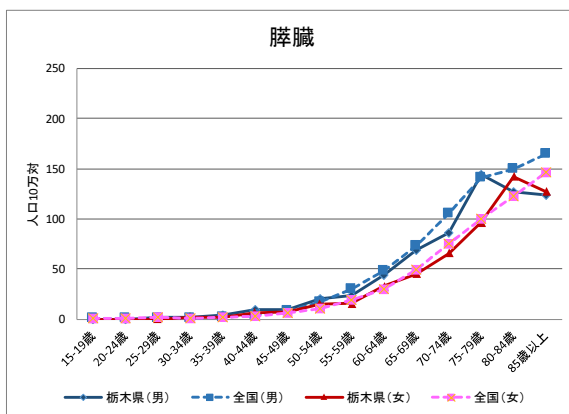
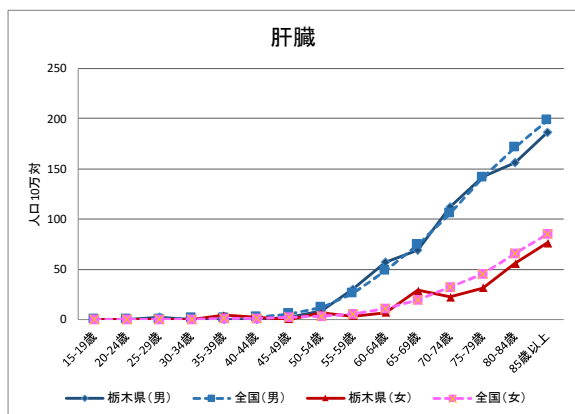
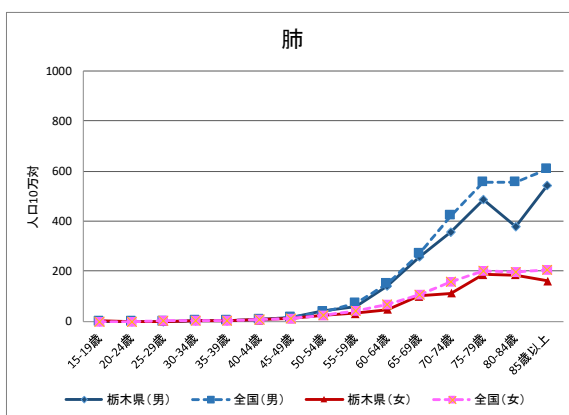
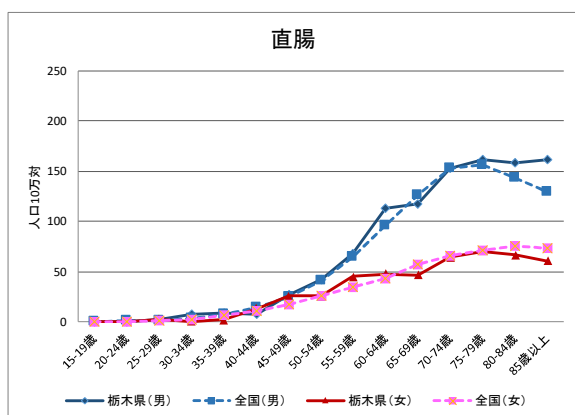
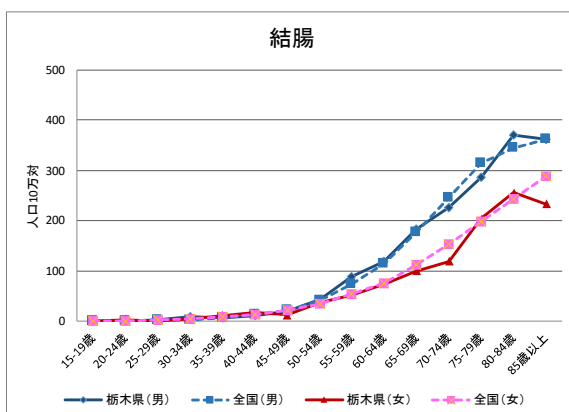
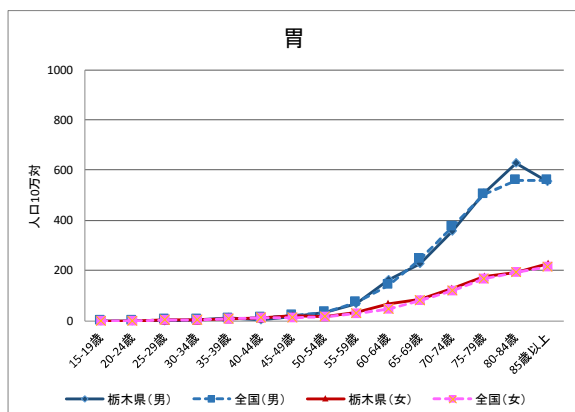


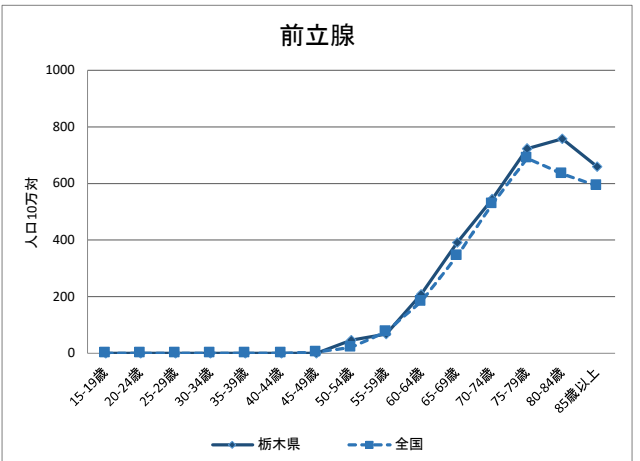
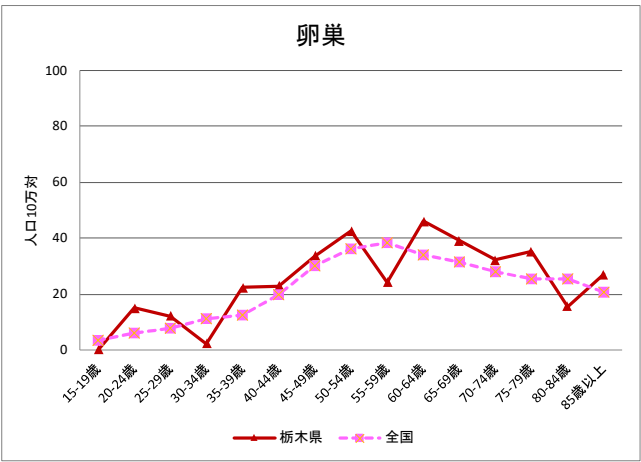
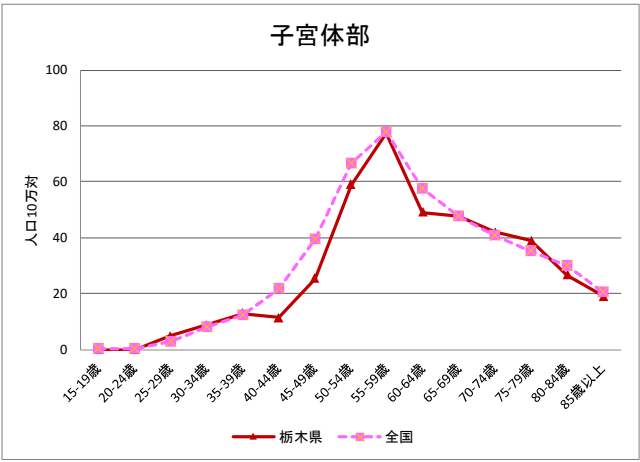
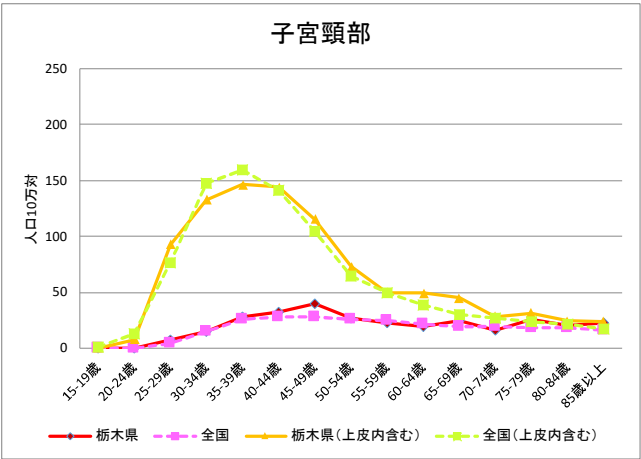
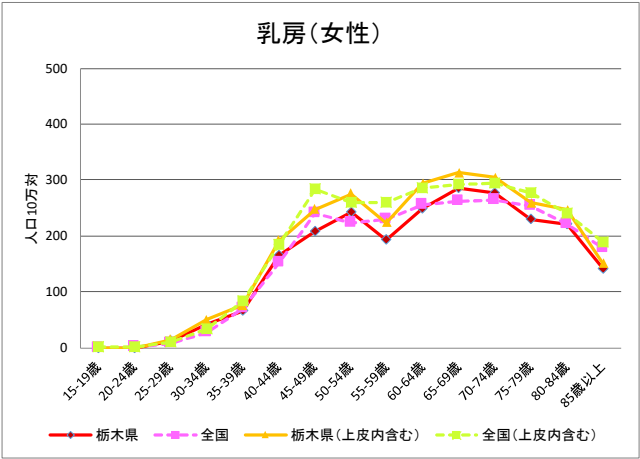
年齢階級別罹患率は、全部位で 15～50 歳代で女性が高く、60 歳以上では男性が高くなった。男女とも年齢階級が高くなるにつれて罹患率は上昇した。その傾向は全国と同様であった。

多くの部位は年齢が高くなるほど罹りやすい傾向があるが、女性の乳がん、子宮頸がんはより若い年齢でも罹患率が高かった。

部位別年齢階級罹患率

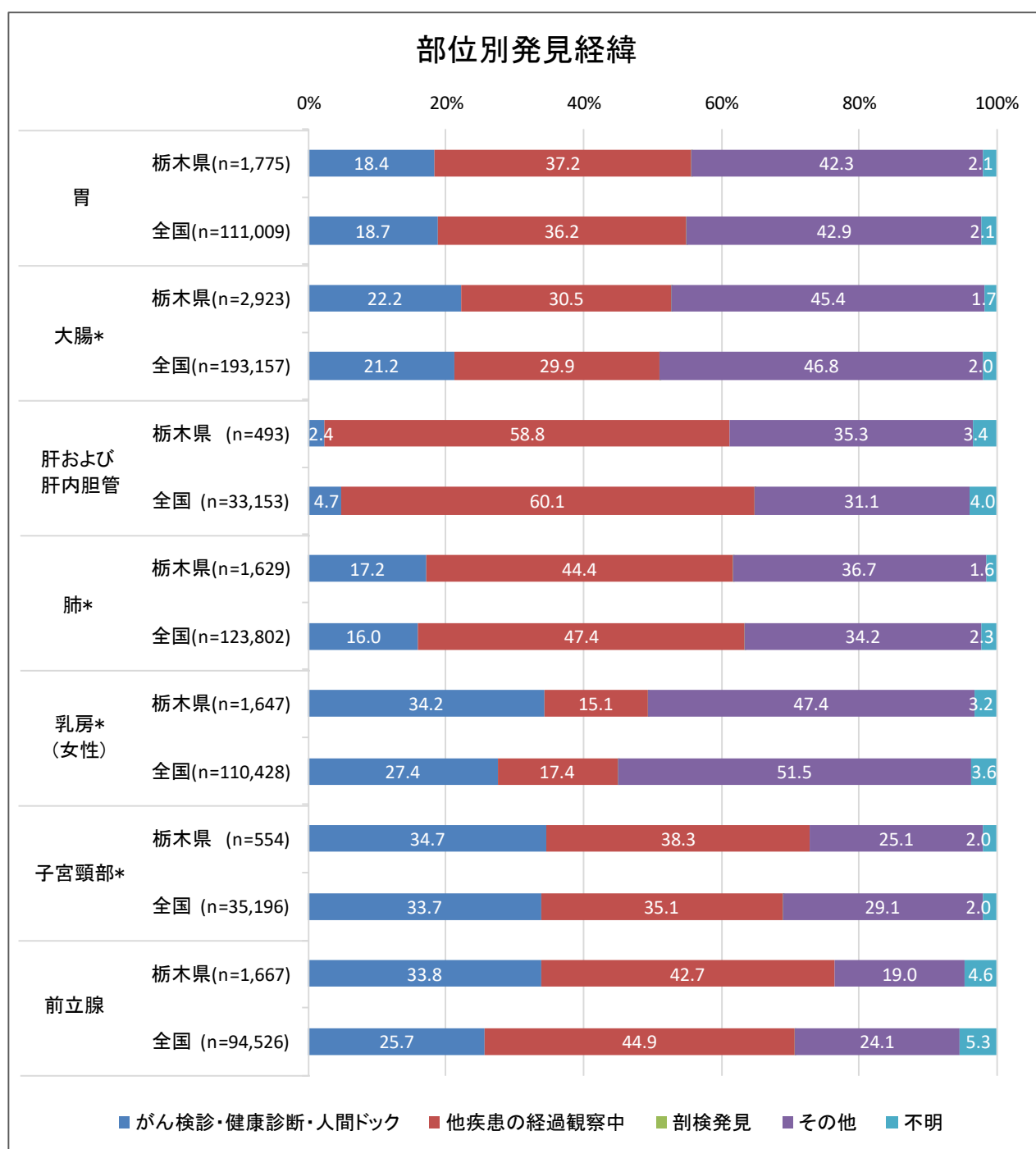






(3) 発見経緯

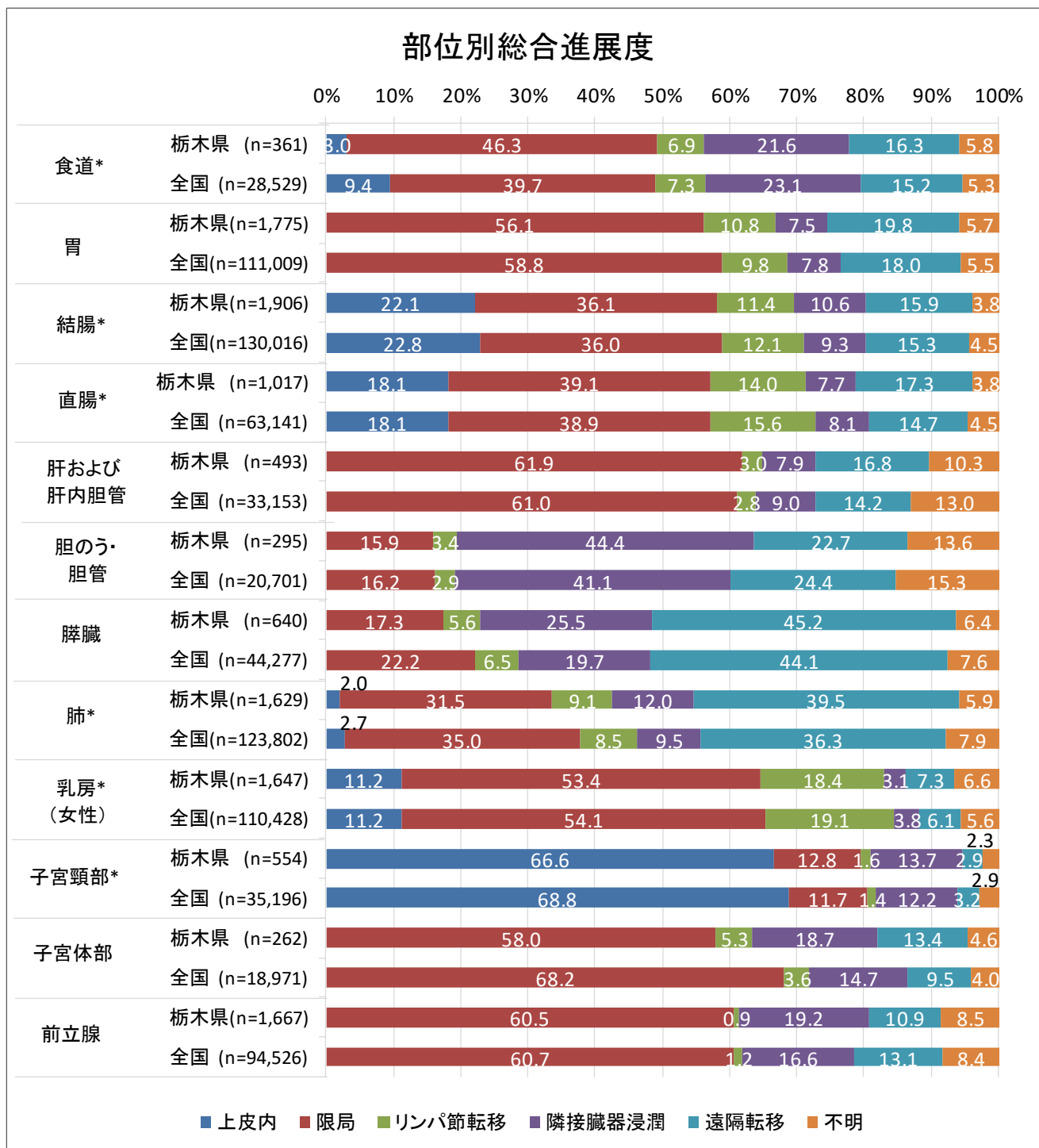
部位別発見経緯では、がん検診・健康診断・人間ドックによる検診等発見割合が、胃(18.4%)、大腸(22.2%)、肺(17.2%)、乳房(34.2%)、子宮頸部(34.7%)、前立腺(33.8%)であった。



* 上皮内がんを含む。

(4) 総合進展度

胃、大腸（結腸・直腸）のように上皮内・限局が 50～60%を占めるもの、乳房、子宮頸部のように 60%を超えるもの、反対に胆のう・胆管、膵臓、肺のように 40%に満たないものがあった。

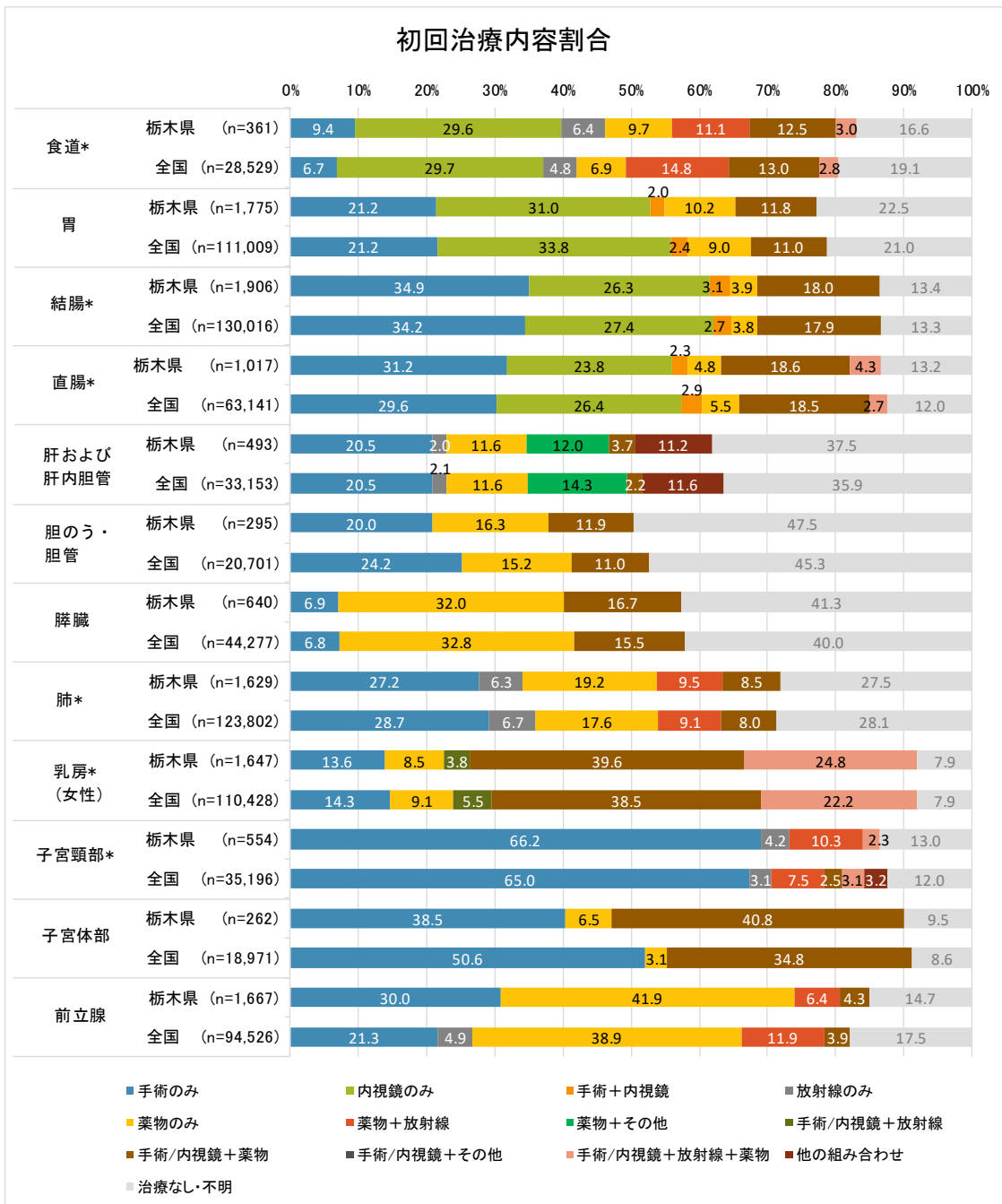


* 上皮内がんを含む。胃の限局にはmがんを含む。結腸・直腸の上皮内はmがんまでを指す。子宮頸部の上皮内はCINⅢを含む。

(5) 初回治療

がん登録における初回治療は、当該がんの縮小・切除を意図したがん組織に対する治療（「腫瘍に対する治療」という）のうち、当該がんに関する最初の診断に引き続き行われた、腫瘍に対する治療とする。

主な部位別に治療の内容を分類し、割合を示す。部位によって、特徴があり、全国と栃木県は同じような傾向を示す。しかし、初回治療の内容は診断時の進展度、年齢や併存症などに影響されることを考慮しなければならない。



* 上皮内がんを含む。 付表3 参照 (2%未満の組み合わせは図に表示していない)

2. 死亡の概要

2021年1年間で5,811人(男性3,438人、女性2,373人)が、がんを原因として死亡した。部位別では男性で肺が最も多く、胃、大腸、膵臓、肝臓と続く。女性では肺が最も多く、大腸、膵臓、胃、乳房の順であった。全国の死亡順位は男性では肺、大腸、胃、膵臓、肝臓の順で、女性では、大腸、肺、膵臓、乳房、胃の順であった。

年齢では、75歳以上が男性で59.0%、女性で65.6%を占めた。全国値では、男性61.9%、女性67.4%と栃木県の方が高齢者の割合が低かった。

なお、全国と栃木県の年齢調整死亡率の比較は以下のとおりであった。

部位別年齢調整死亡率

